



オランダのデルタ計画 (Delta Programme)



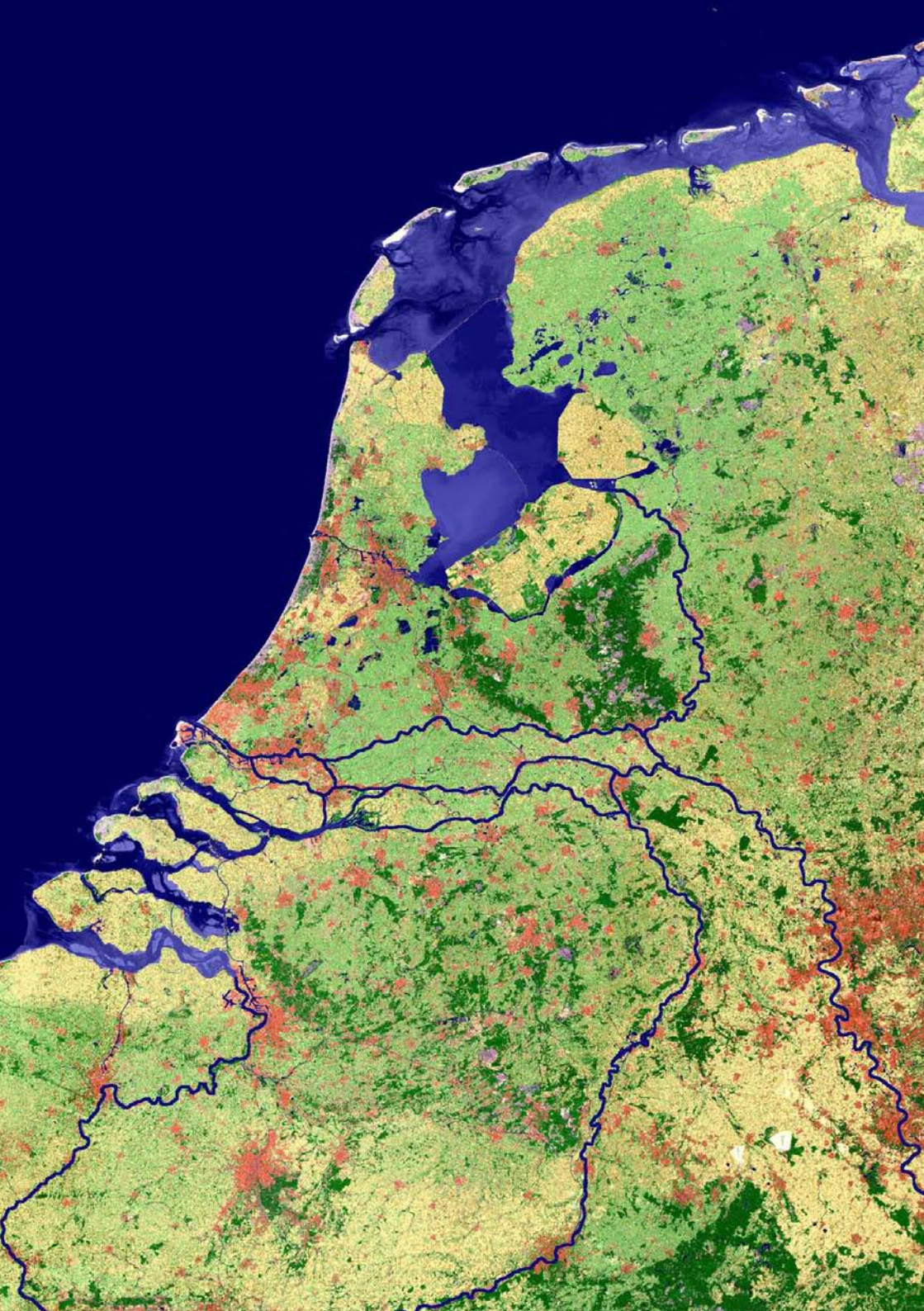


オランダは長い間、水との密接な関係があり、海と主要河川の間で繁栄してきました。水は繁栄と活力をもたらしてくれるが、予想できないことも起こり、重大問題の原因になることもある。

デルタ計画の完成からオランダは世界最高の保護されたデルタにランク付けされた。同時にこの美しい国の次世代を守り、彼らが生活し、働き続けていくためには継続投資が非常に重要である。

洪水に対する保護や水の対策は毎年、年中努力や投資が必要である。堤防の裏側に住む大勢の人々と繁栄のためにこの課題は大きくなった。これまでと比較して、保護するものがさらに増えているからだ。

一方、土地は低くなり、海面が上昇しているため、降雨量が多い期間と乾燥期間が予想される。余分な水があるということは、主要河川には大量の水があるということである。水不足は経済（農業、工業、輸送）、公益事業（水やエネルギー）のほかに堤防（安全）にとってマイナスの要因となる。



デルタ計画

新デルタ計画の目的は現在と将来において、洪水からオランダを守ることと真水の供給確保である。この計画を立てることは、空間と都市計画、経済と農業のレベル、自然と娯楽の両面における多くの問題と要因が関係する。

全国的に計画した水力作業を実施することのほかに、デルタ計画では5つのデルタ決定を用意している。現在の計画には Room for the River が含まれており、現在の洪水防止の計画と確立に向けて取り組む。デルタ決定によって将来の準備をする。現在の計画は2015年から2020年の間に完成する予定で、デルタ決定もその間に準備される。これらのデルタ決定はオランダの将来に目に見える効果を発揮し、今後の実施計画「Delta Works of the future（デルタの将来の取り組み）」の基礎となるであろう。

デルタ決定と関係施策の詳細はサブプログラムに用意されている。全国的な3つの一般プログラム「安全、真水、新都市開発、改革」(Safety, Freshwater, New Urban Developments and Restructuring) は目的や、安全、真水供給、空間計画の潜在的な役割に対する戦略を打ち出している。これらのフレームワークには、地域計画と、Rhine Estuary-Drechtsteden、南西

デルタ、IJsselmeer（アイセル）地域、河川、海岸、Wadden ワツデン地域の6つの地域のサブプログラムの事業（エネルギー）をどこで結合させるか、特定地域の詳細が計画されている。

取り組み

デルタ計画の取り組みによって、オランダは安全な将来に向けて努力している。変化する環境に対して柔軟性のある姿勢をとり、将来の計画に向けて有効なデルタ計画を評価・観察して協力し合っている。このような堅実な取り組みによって必要なときに最適な情報を正確に取り入れることができる。

間接的な連結性

デルタ計画はソリューションを見つけるために間接的な連結性を持って取り組んでいる。わが国の水道システムは単一系をなしており、洪水防止システムと水レベル管理を通じた洪水防止と真水供給の作業と手段には強いつながりがある。安全と適切な真水供給を確保することも構築した方法につながっている。空間計画によって、洪水の影響を制限し、安全の貢献に一役買うことがある。water buffers を作ることで、真水の保存と維持に貢献する。安全と真水供給作業の間接的な連結的取り組みと、わが国で果たすことのできる空間計画の任務は重要である。デルタ計画は5つのデルタ決定を通してこれを実施しており、3つの一般サブプログラムと6つの地域をベースにしたサブプログラムを作成中である。治水工事と社会的発展、経済発展、生態系進展とを個別に考えることはできない。デルタ計画は全体的な地域ベースの取り組みで、この安全が常に優先される。

協力

デルタ計画ではそれぞれが各自の責任を基にたくさんの行政体が協力している。このようなマルチ管理によって国や地域の機会や意欲とデルタ計画事業の間接的な連結性を可能にする。また、これによって意志決定の際に有意義な基盤を築き、社会組織やビジネス界が計画に密接にかかわり合っている。

全国的な包括的サブプログラム3つ:


安全

真水

新都市計画と改革

地域ベースのサブプログラム6つ:


 Rhine Estuary-Drechtsteden

 南西デルタ

 IJsselmeer (アイセル) 地域

 河川

 海岸

 Wadden (ワッデン)

地域



この地図はデルタ計画で紹介された工学構造および事業の場所、河川、水域を示す。

革新

また、デルタ計画はビジネス界、知的機関、社会組織における改革の知識と動力のプラットフォームになるように努力している。

より良いソリューションとコスト削減のためにも、一刻も早く本計画を展開することを目的としている。この背景を基に、デルタ計画は水セクターにおける改革を刺激するという重要な役割を果たすことができる。

Delta Act (デルタ法)

デルタ計画の法的基本はDelta Act (デルタ法) に記載されている。これによってデルタ長官の任務と権限も制定され、デルタファンドも設立される。この法的基本はオランダが求める洪水防止と真水供給のための目標取り組みとして必須である。

デルタファンド

デルタ計画の財源はデルタファンドである。この予算基金は洪水防止と真水供給のための手段と対策の費用を補償する。工事や改良と平行して、デルタファンドは治水工事の管理、維持、運用の基金も提供する。

デルタ長官

オランダ政府がデルタ計画のデルタ長官を任命した。デルタ長官はDelta Act (デルタ法) に規定の職務と権限を持ってデルタ計画を統制する。デルタ長官はデルタ計画の企画を毎年実施し、進展を確保する。この目的を達成するために、デルタ長官は閣僚、地方政府、地方自治、地域の水道委員会、ビジネス界、社会組織、一般社会との総合的な良好なコミュニケーションを確保すると共に、密接に協力する。

デルタ決定

毎年、閣僚は国会にデルタ計画を提出する（デルタ長官が作成）。第1デルタ計画「DP2011」はサブプログラムの取り組み方法を設定する。2011年9月20日に発表された

「DP2012」は短期、中期、長期における安全と真水の課題について分析している。「DP2013」は可能解決方法の調査について焦点を合わせ、「DP2014」では有望な戦略として紹介され、そこから、「DP2015」のデルタ決定に対するデルタ長官の提案につながる。



安全

堤防が提供する安全レベルは1953年の水害の後に開発された基準を基にしている。オランダの人口と投下資本の両方ともそれ以来、上昇している。安全に関するデルタ決定は洪水防止基準の改定に対する提案からなり、関連安全戦略も含む。



真水戦略

現在の水系、管理、方針は限界に達しているようである。実際、理論ではなく、2003年の乾燥期間と2011年春の乾燥からも明らかである。真水に関するデルタ決定は持続可能で、経済的に最適な真水供給に関するソリューションからなり、必要な措置を設定する。



空間適応

今日の工事によって将来、不必要なコストや問題の原因にならないことが重要である。デルタ決定の空間適応は着実な開発とオランダの建物密集地域の再開発に対する方法と条件に取り組む。空間開発によって洪水、大雨、乾燥期間の延長、超高温などによる影響の制限に役立つ。この目的を達成するために、建物密集地域開発の国家政策枠組みを作成する。



Rhine-Meuse デルタ

Rhine Estuary-Drechtsteden と南西デルタを通る主要河川は海と河川が合う
ダッチデルタの重要な推移点を形成
する。人口と経済活動の観点、両面
においてあらゆる種類の関心を守っ
ている。Rhine-Meuseデルタのデルタ
決定は洪水防止と地域の持続可能な
真水供給の確保に対するソリューシ
ョンからなる（2050年まで、および
それ以降）。



IJsselmeer 地域における水位管理

IJsselmeer 地域は大きな真水流域で、delta decisionは2015年～2050年の間にIJsselmeer 地域の水位を管理するための計画である（2100年を見越して）。この計画は地域の安全業務と全国的な真水計画におけるIJsselmeer 地域の役割が関連している。

デルタ計画

デルタ計画は全国的なプログラムで、政府、地方自治体、水管理委員会が社会組織やビジネス界と協力して実施する。その目的はオランダの洪水防止と次世代の適切な真水供給の確保である。

デルタ計画にはサブプログラムが9つある。

- 安全
- 真水
- 新都市開発および改革
- IJsselmeer 地域
- Rhine Estuary-Drechtsteden
- 南西デルタ
- 河川
- 海岸
- Wadden（ワツデン）地域

デルタ計画はデルタ長官が管理し、デルタ計画の政府長官である。

www.deltacommissaris.nl/english

本書は以下の機関の共同出版物である。

インフラストラクチャー・環境省

経済・農業・イノベーション省

2011年11月

Japanese